

作成日 平成 29 年 3 月 8 日  
改訂日 平成 29 年 7 月 4 日

## 安全データシート(SDS)

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : ベンリダイন WP シール (BB-565~BB-570)  
販売会社名 : 株式会社 サンゲツ  
住 所 : 愛知県名古屋市区西區幅下 1-4-1  
TEL : 052-564-3311  
FAX : 052-564-3366  
担当部門 : インテリア事業本部 品質管理技術室  
緊急時の連絡先 : 同上  
推奨用途及び使用の制限 : シーリング材

### 2. 危険有害性の要約

**GHS 分類**  
物理化学的危険性 : 可燃性固体 : 区分 2  
健康に対する有害性 : 皮膚腐食性及び刺激性 : 区分 2  
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分 1  
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 2  
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 2  
環境有害性 : 環境有害性 該当せず/分類対象外  
(注) 記載なき GHS 分類区分 : 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

**GHS ラベル要素** :



注意喚起語 : 警告  
危険有害性情報 : 可燃性固体  
皮膚刺激  
重篤な眼の損傷  
臓器の障害のおそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ  
物理的及び化学的危険性 : 燃えやすい固体である。蒸気が滞留すると爆発のおそれがある。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
化学名又は一般名 : ウレタン樹脂系シーリング材  
成分及び含有量

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
ウレタン樹脂	30-40	非公開/未登録	非公開/未登録
無機質充填材	40-50	非公開/未登録	非公開/未登録
酸化カルシウム	1-5	1305-78-8	1-189
シリカ	1-5	非公開/未登録	非公開/未登録
酢酸エチル	1-5	141-78-6	2-726
N-メチル-2-ピロリドン	1-5	872-50-4	5-113

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。  
安衛法「表示すべき有害物」該当成分  
酢酸エチル、N-メチル-2-ピロリドン  
安衛法「通知すべき有害物」該当成分  
酸化カルシウム、シリカ、酢酸エチル、N-メチル-2-ピロリドン

---

#### 4. 応急措置

##### 応急措置の記述

- 吸入した場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
皮膚(又は髪)に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診察/手当てを受けること。  
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
医師に対する特別な注意事項 : 特別な処置が必要である。

---

#### 5. 火災時の措置

##### 消火剤

適切な消火剤 : 火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

##### 消火を行う者への勧告

特有の消火方法 : 関係者以外は安全な場所に退去させる。

---

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置 : 関係者以外は近づけない。  
回収が終わるまで十分な換気を行う。  
適切な保護具を着用する。  
皮膚に触れたり眼に入れたりしないように、不浸透性手袋等の保護具を着用する。

---

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

##### 取扱い

##### 技術的対策

- (取扱者のばく露防止)  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
(火災・爆発の防止)  
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。  
容器を接地しアースをとること。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講じること。

##### 安全取扱注意事項

配合禁忌等、安全な保管条件 : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

##### 適切な保管条件

- : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
施錠して保管すること。  
直射日光を避け容器を密閉し5~35℃で保管する。

---

#### 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : (酢酸エチル)

許容濃度 : 作業環境評価基準(2004) <= 200 ppm  
(酢酸エチル)  
日本産衛学会(1995) 200ppm; 720mg/m<sup>3</sup>  
(N-メチル-2-ピロリドン)  
日本産衛学会(2002) 1ppm; 4mg/m<sup>3</sup> (皮)  
(酸化カルシウム)  
ACGIH(1990) TWA: 2mg/m<sup>3</sup> (上気道刺激)  
(酢酸エチル)  
ACGIH(1979) TWA: 400ppm (上気道および眼刺激)

#### ばく露防止

##### 保護具

手の保護具 : 保護手袋を着用する。  
眼の保護具 : 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。  
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を着用する。  
衛生対策 : 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

#### 物理的状態

形状 : ペースト状  
色 : 各色  
引火点 : 47°C  
比重/密度 : 1.39g/cm<sup>3</sup>

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 通常の手扱い条件下において安定である。

## 11. 有害性情報

### 毒性学的影響に関する情報

#### 急性毒性

急性毒性(経口) : [日本公表根拠データ]  
(酸化カルシウム)  
mouse LD50 =3059 mg/kg (RTECS, 2004)  
(N-メチル-2-ピロリドン)  
rat LD50=3500 mg/kg (DFGOT vol.10, 1998)  
急性毒性(吸入) : [日本公表根拠データ]  
(酢酸エチル)  
vapor : rat LC50=13856 ppm/4hr (ACGIH, 2001)

#### 労働基準法

: 疾病化学物質  
酢酸エチル

#### 局所効果

皮膚腐食性・刺激性 : [日本公表根拠データ]  
(酸化カルシウム)  
腐食性(ICSC,1997)  
(N-メチル-2-ピロリドン)  
ヒト 軽度から中等度の一過性刺激(CICADs(J)No.35, 2001)

#### 眼に対する重篤な損傷・刺激性

: [日本公表根拠データ]  
(酸化カルシウム)  
腐食性 (ICSC, 1997)

	(酢酸エチル)
	ラビット Draize test MMAS=15.0 (ECETOC TR48, 1998)
	(N-メチル-2-ピロリドン)
	ヒト/ラビット(CICADs(J)No.35, 2001 et al)
感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
催奇形性	: データなし
生殖毒性	: [日本公表根拠データ] (N-メチル-2-ピロリドン) cat2: (CICADs(J)No.35, 2001)
短期ばく露による即時影響、 長期ばく露による遅延/慢性 影響	: [区分1] [日本公表根拠データ] (酸化カルシウム) 呼吸器系 (HSDB, 2005)
特定標的臓器毒性	: [区分2] [日本公表根拠データ] (酸化カルシウム) 全身毒性、消化器 (HSDB, 2005)
特定標的臓器毒性(単回 ばく露)	: [区分3(気道刺激性)] [日本公表根拠データ] (酢酸エチル) 気道刺激性 (ACGIH, 2001) (N-メチル-2-ピロリドン) 気道刺激性(CICADs(J)No.35, 2001) [区分3(麻酔作用)] [日本公表根拠データ] (酢酸エチル) 麻酔作用 (ACGIH, 2001)
特定標的臓器毒性(反復 ばく露)	: [区分1] [日本公表根拠データ] (酸化カルシウム) 呼吸器系 (ACGIH, 2001) (N-メチル-2-ピロリドン) 骨髄、脾臓、肝臓、呼吸器、副腎、腎臓(CICADs(J)No.35, 2001)
吸引性呼吸器有害性	: データなし

## 12.環境影響情報

生態毒性	: 水生毒性 水生毒性 (急性) 成分データ [日本公表根拠データ] (酸化カルシウム) 魚類 (コイ) LC50=1070mg/L/96hr (IUCLID, 2000) (酢酸エチル) 甲殻類(オオミジンコ) LC50 = 2500mg/L/24hr (SIDS, 2008) (N-メチル-2-ピロリドン) 藻類(セネデスマス)、甲殻類(オオミジンコ)、魚類(ニジマス)毒性値>100mg/L(SIDS,2007)
水溶解度	: (酸化カルシウム) 0.12 g/100 ml (HSDB, 2004) (酢酸エチル) 8 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2009) (無機質充填材) 非常に溶けにくい (14 mg/l, 25 C) (ICSC, 2012) (N-メチル-2-ピロリドン) 100g/100ml(SRC, 2005)
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: (酢酸エチル) log Pow=0.73 (ICSC, 2014) (N-メチル-2-ピロリドン) log Pow=0.38 (ICSC, 2014)
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層破壊物質	: データなし

---

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では、特別管理産業廃棄物の廃油と廃プラスチック類の混合物で、その処理については認可を受けた専門の処理業者に委託する。使い切った後の容器は、接着剤が乾燥固化していれば、産業廃棄物の金属くずと廃プラスチック類の混合物になる。

---

### 14. 輸送上の注意

#### 国連番号、国連分類

番号	: 1325
品名(国連輸送名)	: その他の可燃性固体、有機物、N.O.S
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	: 4.1
容器等級	: II
指針番号	: 133
特別規定番号	: 233;274; A3; A803
特別の安全対策	: 容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。 MARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード 有害液体物質(Z類) 酢酸エチル 有害液体物質(Y類) N-メチル-2-ピロリドン 有害でない物質(OS類) 無機質充填材

---

### 15. 適用法令

#### 当該製品に特有の安全、健康

#### 及び環境に関する規則/法令

#### 毒物及び劇物取締法

#### 労働安全衛生法

- : 該当しない。
- : 有機溶剤等に該当しない製品  
名称表示危険/有害物 (令18条)  
酢酸エチル; N-メチル-2-ピロリドン  
名称通知危険/有害物 (第57条の2、令第18条の2別表9)  
酢酸エチル; 酸化カルシウム; シリカ; N-メチル-2-ピロリドン  
別表第1危険物(第1条、第6条、第15条関係)  
危険物・引火性の物(30℃≦引火点<65℃)

#### 化学物質管理促進(PRTR)法

#### 消防法

#### 化審法

- : 該当しない。
- : 第2類 可燃性固体 危険等級 II/III
- : 優先評価化学物質  
N-メチル-2-ピロリドン

#### 悪臭防止法

#### 船舶安全法

#### 航空法

#### 水質汚濁防止法

- 酢酸エチル
  - : 可燃性物質類 可燃性物質 分類4 区分4.1
  - : 可燃性物質類 可燃性物質 分類4 区分4.1
  - : 指定物質  
酢酸エチル  
法令番号 13
-

## 16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料及び試験に基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。全ての化学物質は未知の有害性がありえるため、取扱いには十分注意する必要があります。記載内容は安全性に関する情報提供であって、製品の保証書ではありません。  
注意事項は通常の手扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合は用途、使用方法に適した安全対策を行い、ご使用ください。

**参考文献** : Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)  
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)  
2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>  
JIS Z 7253 (2012年)  
JIS Z 7252 (2014年)  
2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
Supplier's data/information